

通所リハビリテーション室 忘年会 H27.12.8(火)

通所リハビリテーション室

介護職 武内 祐歌

通所リハビリテーションでは毎年恒例の忘年会を27年12月8日に行いました。今回はビンゴゲーム買い物カラオケを企画しました。ビンゴゲームはとても盛り上がり利用者

さんは出る数字を真剣に見て『リーチ!ビンゴ!』と次々に声が上がっていました。もちろん1位の方から景品をお渡ししました。次に、買い物は皆さん一番楽しみにされていたようで、始まると商品をいくつも選んで下さり、日頃買い物に行けない方も本当に喜んで頂きました。

今回ご協力頂いた売店の皆様ありがとうございました。カラオケでは普段利用者さんが歌って下さっていますが、今回はスタッフが歌いました。歌の上手いスタッフが多く、今回衣装に着替えて披露をし、笑いに包まれました。皆さんお疲れ様でした。これからも通所リハビリテーションをよろしく願います。



第2回 Hi-Six 42.195 km リレーマラソン in 高知春野総合 運動公園 H27.11.29 (日)

3病棟 看護師 横山 竜弥

この度、第2回 Hi-six42.195km リレーマラソン in 高知春野総合運動公園に、南国病院かめさんチームの一員として参加させて頂きました。リレーマラソンとは、10人で1チームとして1人あたり約2kmを2回走り全員で制限時間内に42.195km完走を目指すという内容でした。自分がこの話のお誘いを頂き参加を決めた時は、「2km程度なら大丈夫だろう・・・」と安易に考えておりました。しかし蓋を開けてみれば学生の時以来、運動不足の自分にとっては1kmを走り続けるだけでも精一杯で、日頃の怠慢な自分を痛感しました。そして慌てて練習をスタートし、本番に臨みました。

練習当

初はとても辛く何回も挫折しそうになりましたが、少しずつ身体を動かす事の楽しさを感じる事ができ、また自分の健康に対する意識(ダイエット)も改める大きなキッカケとなる事ができました。

本番当日はチームの皆さんもしっかり練習を重ねられており、絶対に完走しよう!という共通意識を持ち臨む事ができました。手渡されたタスキを持ち、責任を持って少しでも早く次のランナーに手渡し、一人一人が皆のために助け合い、



無事に制限時間4時間のところを3時間33分9秒でゴールする事ができました。ゴールできた事への達成感と同時に、助け合いの精神の大切さ、しっかりと連携する事の強みを実感する事ができました。今回は当院より2チーム20名の参加でしたが、次回からはもっと人数を増やせるよう、そして南国病院の恒例イベントとなれば良いと思っています。最後に、この様な大切な機会を与えて下さり良い経験をさせて頂き、本当に有り難うございました。メンバーの皆様お疲れ様でした!

地域連携・ 医療相談室の 紹介



主任 社会福祉士 市原 梨沙

医療相談室は、平成11年に社会福祉士の資格をもつソーシャルワーカー1名体制で業務を開始しました。

その後、平成15年からは、社会福祉士と精神保健福祉士の両資格を持つソーシャルワーカーを増員。

現在は、精神保健福祉士を1名増員し、2名体制で業務を行っています。

相談件数は年々、確実に増えています。特に神経難病に関する相談はここ数年で激増しました。

相談に来られる方、ひとりひとりを取り巻く状況や抱えられている悩みは勿論様々であり、医療・就労など相談の幅も多岐にわたってきています。

それぞれ悩みは違いますが、ソーシャルワーカーは、患者さまやご家族の“どのように生きていきたいか”という気持ちを尊重し、一緒に考えていきたいと思っています。

相談の内容によっては、ソーシャルワーカーのみでお話しをうかがわず、必要に応じて医師、看護師などを交えて話し合い、更に、市町村の窓口や地域の相談機関、施設、ケアマネージャーの方とも連携し、患者さんやご家族の問題解決に向けてお手伝い致します。

ご相談がある方は、お気軽に1階西エレベーター横の相談室へお声かけ下さい。

医療安全 対策室の 紹介



医療安全管理者 看護師 大黒 千明

医療安全対策室は2007年(平成19年)4月に設置され、早いもので8年が経ちます。設置されるまでの経緯について少し触れてみたいと思います。1999年に「患者間違い」や「注射薬の間違い」など医療事故が立て続けに起こり、マスコミ等で取り上げられました。これを機に「医療安全」についての取り組みが本格的になり、2007年の医療法改正のもと医療安全対策室の設置と医療安全管理者の配置(専任)が義務化されました。

当初は医療安全管理者1名(美と若さが気になるおばちゃん看護師)で院内全部署の医療安全管理(兼医療機器安全管理)を担っていました。平成23年9月に臨床工学技士1名(家庭では良き夫、良きパパのチャレンジ精神旺盛な yes マン)の採用があり、元々看護師が行っていた医療機器の取り扱い(保守等)を彼に一任するとともに医療安全管理も2人で行うようになりました。

医療安全は患者さん、職員両者の安全を目標としています。また、職員の協力あつての医療安全です。毎日の「インシデント・アクシデント報告」の集計と分析、安全ラウンド、そして安全文化の構築のための安全研修(教育)の立案と実施を業務とし、これからも、安全な医療・看護・介護が提供できるよう精進していきたいと思っています。